

Injury Alert (傷害速報)類似事例

木製おもちゃの誤嚥による窒息 (No.47 木製おもちゃの誤嚥による窒息の類似事例 4)

事例	基本情報	年齢：1歳 1か月 性別：男児 体重：11kg
	家族構成	父、母、姉(6歳)、兄(4歳)
	発達・既往歴	特記事項なし
臨床診断名		喉頭異物、口腔咽頭損傷
医療費		入院 183,680円
原因対象	対象名称	木製のままごとセットのいちご半分 (図参照：マグネットで2つに分離するものだが、分離しない状態で40×42×40mmと推測される)
	入手経路 使用状況	2018年におもちゃ屋で姉のために新品で購入した。普段は自宅のリビング内のおもちゃ箱に保管されており、誰でも自由に取り出せた。きょうだいで、よくおままごと遊びに使用していた。
発生状況	発生場所	自宅のリビング
	周囲の人 周囲の環境	リビング内にて父親の近くで姉、本児とで遊んでいた
	発生日月日	2023年4月X日(日) 午前11時30分
	発生時の 詳しい様子 受診までの経緯	2023年4月X日 リビングできょうだいで遊んでいるときに、本児の口が膨らみ、もごもごと動いているところを父親が目撃した。口腔内を指で確認するとおもちゃを触知できたが、掻き出すことができず、救急要請となった。現場に到着した救急隊は、本児の口腔内から出血があったため、気道閉塞を防ぐ目的で喉頭展開を行い、おもちゃをマギール鉗子で除去した。その後も口腔内からの出血の持続と嘔声症状があり、気道狭窄の疑いとしてドクターヘリで医療機関へ搬送となった。
医療機関受診時 以降の治療経過 転帰		医療機関に到着時も口腔内より出血は持続していたが、嘔声や気道狭窄を示唆する所見は無く、呼吸状態は安定していた。診察上は硬口蓋に数mmの挫創を認め、出血源であると考えられたが自然に止血した。経過観察目的で入院し、耳鼻科医による喉頭ファイバースコープを施行し、喉頭浮腫がないことを確認した。X+1日、経口摂取が可能であることを確認し、退院した。
キーワード		喉頭異物、異物誤飲、窒息

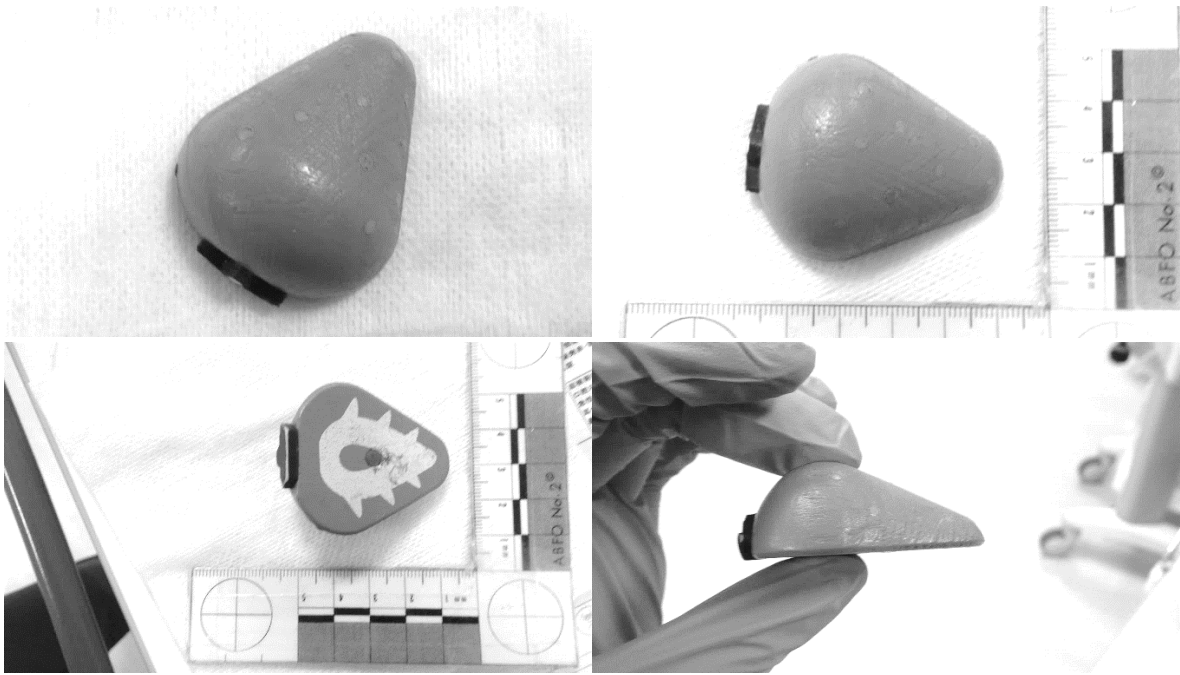


図) 実際に誤飲した、いちごのおもちゃ (誤飲したものは、分離した片方のみで、厚み20mm程度)